



学習のポイント

第一志望入試よりは長文ですが、小学校入試では標準的な内容です。難関校を目指しているお子さまなら、スムーズに答えられて当然でしょう。ただし、お話の細部まで記憶しておかないと④⑤など「2つ答えのある質問」には対応できないので、出題されそうなポイントは押さえながらお話を聞いておく必要はあります。登場人物は2人、しかも親子なので自然と「誰が何を言い、行ったか」は自然と覚えられますが、動物や食べものはそれなりの数で登場しますから、イメージしながらお話を聞いておくべきです。「コアラを見るひろしくん」「レストランでお昼ごはんを食べる2人」といった場面をイメージします。イメージすることによって情報が整理され覚えやすくなり、細部もカバーできるのです。問題文は「2つ〇をつけましょう」と答えの数まで親切に教えてくれています。問題文の理解も当校入試では大きなポイントの1つですから、最後まで聞いてから答えるという姿勢は崩してはいけません。なお、一般入試の2回目の「お話の記憶」はこの問題より少しやさしい問題が出題されたようです。

【おすすめ問題集】

1話5分の読み聞かせお話集①・②、お話の記憶 初級編・中級編・上級編

問題7

分野:数量(数の構成)

※一般入試1回目

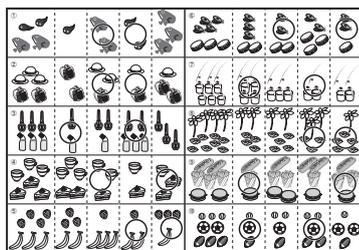
観察 集中

〈準備〉 鉛筆

〈問題〉 左端の絵に描かれているものの数にするには、右のどの絵とどの絵を組み合わせるとよいですか。〇をつけましょう。

〈時間〉 各30秒

〈解答〉 下図参照



[2020年度出題]

家庭学習のコツ④ 効果的な学習方法～お子さまの今の実力を知る

1年分の問題を解き終えた後、「家庭学習ガイド」に掲載されているレーダーチャートを参考に、目標への到達度をはかってみましょう。また、あわせてお子さまの得意・不得意の見きわめも行ってください。苦手な分野の対策にあたっては、お子さまに無理をさせず、理解度に合わせて学習するとよいでしょう。